

## SMR 構想検討会資料

京都大学 小林潔司

1. ポストアーバン社会
  - コンパクト都市
  - 都市コリドー
  - 都市と郊外という概念の消滅
  - 消費都市（多様な生き方）
2. ポストアーバン化の背景
  - 知識の陳腐化
  - 時間固定性
  - 時間の圧力、労働、家事、育児、介護、余暇、移動、勉強
  - アウトソーシングできない活動、余暇と勉強
3. 国土構造（新経済地理学）
  - a. 集積力と分散力のせめぎ合いが人口の地理的な分布を決める
    - 集積力： 集積の経済
      - 人口集積地では多様な財とサービスを楽しむことができる
    - 分散力： 移動費の存在、混雑
      - 消費地の近くで生産する企業に優位性が存在
  - b. 移動時間が大きい環境
    - 他都市の財・サービスは買えない
    - 選択肢は「大都市に住み大都市の財のみを買う」又は「小都市に住み小都市の財のみを買う」バラエティが多い大都市を選び小都市に住むのは諦める
  - c. 移動時間が小さい環境
    - 大都市の住民が小都市の財も購入可能
    - 都市のコンパクト化（都市内移動時間）
    - 小都市における雇用の創出と人口の移転
  - d. その地域でしか作れない財とは
    - 地域文化を反映したサービスはその地域でしか作れない
    - 地域文化を育てる政策がストロー効果の防止に有効
    - 地域文化は人々の交流「ミーティング」の中で育まれる
4. インバウンド観光客対応の課題
  - システム化
  - 商品としてパッケージ化
  - ニーズに対するカスタム化
  - ビジネスモデルの重要性